
Shadow labyrinth

夢幻鳳雛

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Shadow Labyrinth

【Nコード】

N6291H

【作者名】

夢幻鳳雛

【あらすじ】

日常と非日常が互いに交錯する時に、狂気に満ちた戦いが幕開ける。この話は、高校二年生の不良少年、不和雷人が日常と非日常の世界を行き来して、少年の住んでいる町の学校にて起こる連続殺人事件と立ち向かい、サバイバルゲームに巻き込まれていく話である。

序幕（前書き）

この小説は、残酷な描写が多いと思うので、序幕を読んで苦手だと思っただけに読むのをやめて下さい。

序幕

俺は見てしまった。

この町に一番高くそびえたつ高層ビルの上空で、激しくぶつかり合う二つの光を。

そして、片方の光が俺の目の前に落ちてくるのを。

俺は、目を凝らして落ちてくる光を見つめる。

光っているのは、一人の少女だった。

正直、自分の目を疑った。

俺は少女を受け止めようと、走りに走って彼女の落下地点に向かった。

手遅れだった。

あと一秒でも彼女が地に落ちるのが遅ければ、俺は彼女を救うことができた。

少女は地面にぶつかって、死んだ。

俺は返り血を浴びた。

今思えば、この日に起きた事件は、これから始まる惨劇の予兆に過ぎなかったのだ。

そう、俺の学校の廊下一面が生々しい血によって染まった時こそが、

本当の惨劇の幕開けだったのだから。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6291h/>

Shadow labyrinth

2010年10月15日20時02分発行